

### 公共施設などの再開状況（9月21日現在）

区分	施設名称
<b>●市役所・各支所など</b>	
再開済	市役所（10月11日(火)から市民協働課・市民生活課・国保年金課、10月17日(月)から市民課が、アリオス別館から本庁舎1階へ移転予定）、各支所、いわき駅前市民サービスセンター、中央台市民サービスセンター、泉市民サービスセンター、勿来窓口コーナー、磐崎窓口コーナー、大野窓口コーナー、入遠野窓口コーナー
休館中	豊間市民サービスセンター、江名市民サービスセンター
<b>●観光・文化施設など</b>	
再開済	さはこの湯、勿来関文学歴史館、勿来の関公園「吹風殿」、市立美術館、草野心平記念文学館、草野心平生家、考古資料館、暮らしの伝承郷、フラワーセンター、クリンピーの家（施設見学）、道の駅よつくら港（交流館は仮営業中）、石炭・化石館「ほるる」、海竜の里センター、アンモナイトセンター、いわきマリントワー・三崎公園野外音楽堂、アクアマリンふくしま
休館中	いわき・ら・ら・ミュウ、松ヶ岡公園（遊具）、塩屋崎灯台
<b>●宿泊施設など</b>	
再開済	ゆったり館（クアハウス・トレーニングルームのみ、宿泊施設は利用不可）、国民宿舎勿来の関荘、田人おふくろの宿、新舞子ハイツ（ヘルスパール棟・グラウンド・体育館は休業中）、湯の岳山荘、いわきの里鬼ヶ城、遠野オートキャンプ場
休館中	平ユース・ホテル
<b>●市民会館など</b>	
再開済	芸術文化交流館アリオス（レストラン・ショップ・キッズルーム・アリオスラウンジ・カスケード・カンティーン・アリオスカフェ・大リハーサル室・中リハーサル室・スタジオは再開済、10月19日(水)から大ホール・中劇場・小劇場、11月1日(火)から音楽小ホール・別館各施設の利用を再開予定）、小名浜市民会館、勿来市民会館（ホールは利用不可）、産業創造館（企画展示ホールは利用不可）、市文化センター（大ホール・プラネタリウムのみ利用可）、生涯学習プラザ（大会議室・小会議室・研修室・情報交換コーナー・交流コーナー・生涯学習情報コーナーのみ利用可）、視聴覚ライブラリー（総合図書館）、いわき平競輪場市民開放施設サイクルハウス、労働福祉会館、勿来勤労青少年ホーム
休館中	常磐市民会館
<b>●図書館・公民館</b>	
再開済	全市立図書館、高久公民館、夏井公民館、草野公民館、赤井公民館（料理実習室を除く）、飯野公民館、中央台公民館、平窪公民館、神谷公民館、小名浜公民館、泉公民館、渡辺公民館（料理実習室を除く）、鹿島公民館、植田公民館（料理実習室を除く）、錦公民館、勿来公民館、山田公民館（講堂を除く）、川部公民館、常磐公民館、磐崎公民館、藤原公民館、内郷公民館、大浦公民館、大野公民館、上遠野公民館、入遠野公民館、小川公民館、好間公民館、三和公民館、田人公民館、川前公民館、大久公民館
休館中	豊間公民館、江名公民館、四倉公民館（10月1日(土)から再開予定、ただしホールを除く、また和室は土曜日のみ利用不可）、久之浜公民館（10月1日(土)から再開予定）
<b>●体育施設など</b>	
再開済	総合体育館、平市民運動場、勿来体育館、いわき陸上競技場（補助競技場は除く）、いわきグリーンスタジアム、いわきグリーンフィールド、平野球場、小名浜野球場、平テニスコート、いわき弓道場、南部テニスコート、南部スタジアム、常磐市民運動場、21世紀の森公園テニスコート、小名浜市民運動場、関船弓道場、内郷コミュニティセンター、内郷市民運動場、遠野市民運動場、好間多目的広場、川前市民運動場、上三坂体育館、下三坂体育館、勿来弓道場、サン・アビリティーズ
休館中	南部アリーナ、平体育館、小名浜武道館、勿来市民運動場、関船体育館、四倉市民運動場、小川市民運動場、田人市民運動場、久之浜市民運動場、小名浜港運動施設

※小名浜地区保健福祉センター・小名浜区画整理事務所は小名浜武道館へ移転しています。

## 市議会9月定例会を開催

いわき市議会9月定例会が、9月1日から15日までの会期で開催されました。議会では、一般・特別・企業会計を合わせて、総額77億9,514万4千円に上る補正予算などが審議され、29議案が可決・同意されました。



### 市長からの行政報告

#### 復興ビジョンと復興事業計画の策定について

復興・復興に当たっては、目指すべき「復興の姿」やそのプロセスを明確にし、市民の皆さんと共有していくことが極めて重要と考えています。そのため、復興に向けた基本方針や主要な施策などを示す「復興ビジョン」の策定に向け、七月十二日に、都市防災や新エネルギーなど、関係分野の専門家などからなる「いわき市復興・復興計画検討委員会」を設置し、これまでに開催した五回の会議を通じて、調査・検討を進めてきました。

このほど「市民の皆さんの安全・安心の最大限の確保」と「震災前にも増して活力に満ちあふれたまちの創造」を目的とした復興ビジョンの素案が取りまとめられたことから、市民の皆さんの幅広い意見をお聞きしたところです。今後は、お寄せいただいた意見を踏まえ、検討委員会から提出される提言を基



市復興・復興計画検討委員会の様子

に、復興ビジョンを策定したいと考えています。

さらに、復興ビジョンに基づく具体的な取り組みや主要な事業を示す復興事業計画の検討を進めるため、九月中を目途に市内各界各層の代表を委員とする「いわき市復興・復興計画検討市民委員会」を設置し、年内の計画策定に向け「オールいわき」体制で取り組んでいきます。

#### 放射性物質の除染について

本市の放射線量対策については、事故発生以前の水準に段階的に回復させるという基本的な考え方のもと、放射線量測定機器や高圧洗浄機等の配備を図ってきました。

### 主な補正予算

#### ○一般会計

- ▶公共施設災害復旧事業費 = 45億3,778万9千円
- ▶スクールランチ事業費 = 5億9,076万6千円
- ▶地域防災がけ崩れ対策事業費 = 2億1,960万円
- ▶社会福祉施設等設備災害復旧費等事業補助金 = 3,770万4千円
- ▶工場等立地奨励金 = 2,284万円
- ▶地域集会施設整備費補助金（修繕分） = 2,078万8千円



#### ○特別会計

- ▶後期高齢者医療特別会計ほか9会計 = 3億3,280万7千円

#### ○企業会計

- ▶水道事業会計 = 1億2,321万8千円
- ▶病院事業会計 = 9,976万4千円

した。とりわけ、保育施設や教育施設の除染については、比較的線量が高い施設や、保護者の皆さんの協力が可能となった施設から、順次、洗浄や清掃を行い、一部、表土除去も併せて実施するなど、着実に子どもたちの生活空間における放射線量の低減に向けた取り組みを進めており、今後も引き続き、通学路や各家庭を含む地域全体の環境改善を図るため、国や県の助言等も受けながら、除染活動を実施したいと考えています。

### 主な議案

#### ○いわき市災害遺児奨励金基金条例の改正について

東日本大震災によって父母などを失った災害遺児を救済するため、受給要件となる災害の範囲に、大規模災害を加えるなど、所要の改正を行いました。

#### ▼小型携帯線量計

妊婦と乳幼児の保護者に対し、自ら放射線量を測定して健康管理につなげる機会を提供するために取得するものです。